

4 1人1台端末の利活用に係る計画

(1) 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

「令和の日本型教育」の構築を目指し、個別最適な学びと協働的な学びを実現するためデジタルツール等が活用できる環境を整備します。プログラミングや情報リテラシーを基盤とした授業が展開され、デジタルツールを活かした創造的な学習が進むことで、児童生徒たちは問題解決力や発想力を養います。オンライン学習プラットフォームや協働ツールを活用し、児童生徒たちが時空を超えて共同で学び、情報を共有できるようなコミュニティを築きます。データ分析やAIを活用して教育効果を評価し、調整することで、効果的な情報教育を実現します。これにより、未来の社会に必要な情報活用能力を身につけ、グローバルな競争社会に適応できるよう努めます。

(2) GIGA 第1期の総括

GIGA 第1期では、GIGA スクール構想の実現に向けて、校内高速大容量ネットワーク、1人1台端末や指導者用端末及び周辺機器等の ICT 環境を整備してきました。環境整備を急速に進めた結果、1人1台端末の活用が思ったより進まず、一斉授業から抜け出せていない面が見られました。端末の動きが悪く使いにくいという先生方の意識が活用を鈍らせている面があると考え、ネットワークの増強を計画的に進めていきたいと考えています。活用促進に向けては、ICT 支援員の派遣や情報担当者研修会を定期的に行い、活用事例を各学校で共有することにより、教職員及び児童・生徒の活用スキル、活用に対するモチベーションは向上しました。

GIGA 第2期の導入にあたって、情報活用能力の育成を前面に出した授業改善を小中学校に指導していく。市内で研究指定校を指定し、授業参観を定期的の実施したり、活用の得意な教員を講師として情報担当者研修会を行ったりするなどの取組を進めていく。

(3) 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末を日常的に利活用するため、まずは、ICT 支援員の定期派遣と情報担当者研修会の定期開催による活用スキルの向上と、活用事例がいつでも確認・共有できるシステムを構築することで効果的な情報提供を継続して行います。

児童生徒が「自分で調べる場面」「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」「児童・生徒同士や教職員とやりとりする場面」等において、積極的に1人1台端末を活用できるよう、教育委員会指導主事が学校を定期的に訪問し、教職員へ活用等の助言を実施していきます。児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題が取り組めるよう、AI 機能を活用した学習支援ツールによる復習や効果的なドリルアプリを推進します。また、全ての児童生徒の学びを保証するため、不登校児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒や障がいのある児童生徒に対して、学習機会を確保するため、1人1台端末を活用した教育相談や希望する児童生徒へオンライン授業等を展開していきます。

項目	KPI	目標値（年度）
1人1台端末の整備	1人1台端末を常時活用ができるよう、十分な予備機を整備しているか。	100%（R7）
校務のデジタル化	FAXでのやり取り・押印を原則廃止した学校の率	100%（R7）
	校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校の率	100%（R7）
	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校の率	100%（R7）
1人1台端末の積極的活用	情報通信技術支援員（ICT支援員）の配置	現状維持
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	デジタル教科書を実践的に活用している学校の率	100%（R10）
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	100%（R8）
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率	100%（R8）
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	100%（R8）
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	100%（R8）